2017年12月　1日　No.116　　発行責任者 田中 孝史

第116号

郵政産業ユニオン PIWU TOKYO
郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3-6-3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

これでは身体がもたない

会社は即急に人員を補充し、欠区状態解消を

都内の多くの職場で人員不足が続いています。欠員の班のAさんは、「いったいいつまでこの状態は続くのか。毎日こういう状態だから休みはとれないし、身体がもたない。このまま年末繁忙を乗り切れるかどうか身体が心配だ」と不安の声を寄せています。

住宅地域を担当している欠員のある班では、夜勤を欠区にして通常配達を終えてから交代で夜勤を行っています。それが毎日のように行われているのです。夜勤は3時間の超勤で行うのですが、通常配達を終えてからですから疲れの度合いが違います。通常配達をするだけでも大変です。入力物、ポストに入りきれない大型郵便物が多くなっていますし、午前配達指定の郵便物が多くあれば、それに追われて予定していた所までいけなくなります。そのために休憩、休息時間が十分にとれない状態にさえなっています。

翌日は日勤で昨日の疲れが残っており、注意力は落ちてきます。その結果、誤配やトラブル、交通事故を起こしやすくなっています。この状態を解決させていくためには必要な人員を補充する以外にありません。

ヤマト運輸は時給を2000円にして募集しているそうですが、それぐらいしないと人は集まらないと判断しているのです。会社は思い切った時給に引き上げて募集し、即急に要員を補充するべきです。郵政産業ユニオンはそのことを強く求めておきます。

最低の時給を1500円に

新宿西口、渋谷ハチ公前で宣伝

東京管内の郵政職場の最低時給は10月から外務1110円、内務980円になりました。しかし、これでは生活実態は改善されません。全労連、全労協はすぐに時給を1500円にするよう求めて宣伝を行っています。8時間働けば普通の生活ができる社会を早期につくっていきましょう。